

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	スピーチロックや、柵の使い方に課題が残る。 無意識で柵を使用し過ぎる。	身体拘束の基本を、知識として職員に植え付ける。	施設内で研修の場を持ち、知識向上に努める。	3ヶ月
2	33	重度化が進んできており、その方々に「生きがい」の把握がなかなかできない。	生活歴などをしっかり理解し、QOLが低下してもその人らしさを失わず、生活していただく。	その方の細かな表情や行動の変化を記録し、何をしたら喜ばれるかなど、職員が共有していく。面会時などに若い頃の様子などを聞き、施設生活に活かす。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。